

【聞く×考える】

39 時代劇

解答例／解答のポイント

LEVEL 1

解答

a:× b:× c:× d:○

LEVEL 2

解答例

子犬の無事という喜びと、鋭一郎の「礼には及ばない。こうしてまた偶然会えるなんて。何か縁があるのやもしれぬな」という言葉が、お互いの気持ちをひとつにしたことで、自然と笑ったのだと考えられます。

解答のポイント

- お雪が必死に探していた子犬が見つかり、安心した気持ちから喜ぶ様子を想像しましょう。
- 鋭一郎の「こうしてまた偶然会えるなんて。何か縁があるのやもしれぬな」という言葉から、二人は偶然の再会でうれしくなったことも推測できます。

LEVEL 3

解答例

二人は、まずお互いの最近の出来事を報告をすると思います。鋭一郎の剣の修行の話、お雪の現在の生活や、どうして子犬を預かっていたかなど、二人が離れていた間の出来事をくわしく話すでしょう。さらに、鋭一郎が「何か縁があるのやもしれぬな」と言っていることから、「これからもまた会おう」という約束をするかもしれません。

解答のポイント

- 二人は幼なじみということから、仲が良いと思われれます。お雪が「こんなところで、どうして…」と言ったことから、毎日のように会っているのではなく、たまに会う関係のようです。このことを踏まえた解答にしましょう。
- 最近の出来事や思い出話、またこの時見つけた子犬の話などをするのが自然でしょう。